

千葉県感染症発生動向調査情報

2015年 第7週 (2/9-2/15) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		7週	6週	5週	4週
小児科		18	18	18	18
眼科		4	5	5	5
インフルエンザ		28	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉県				千葉県 2/2-2/8 6週	
		注意報	2/9-2/15	2/2-2/8	1/26-2/1		1/19-1/25
			7週	6週	5週		4週
小児科	RSウイルス感染症		3	9	8	5	26
	咽頭結膜熱		3	1	1	5	29
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	70	44	41	52	373
	感染性胃腸炎		130	116	131	112	1,016
	水痘		7	4	8	5	60
	手足口病		0	1	0	0	10
	伝染性紅斑	↓	11	12	9	11	73
	突発性発しん		10	12	14	8	53
	百日咳		0	0	0	0	1
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		6	4	0	1	40
インフル	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓↓	255	469	762	888	4,174
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		4	2	9	2	16
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	2
	マイコプラズマ肺炎		0	0	1	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	1	0	1	1
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1	1	1	0	1

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(9件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	画像診断	結核	女性	30歳代	IGRA検査等
結核	男性	60歳代	病原体等の検出等	結核	女性	80歳代	病原体の検出等
結核	男性	70歳代	画像診断	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	70歳代	病原体の検出
結核	男性	70歳代	画像診断等	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	30歳代	病原体の検出
結核	男性	80歳代	画像診断等	-	-	-	-

・結核7件(22)、侵襲性肺炎球菌感染症2件(7)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第7週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より増加し3.89となった。過去10年の同時期と比べると多い。

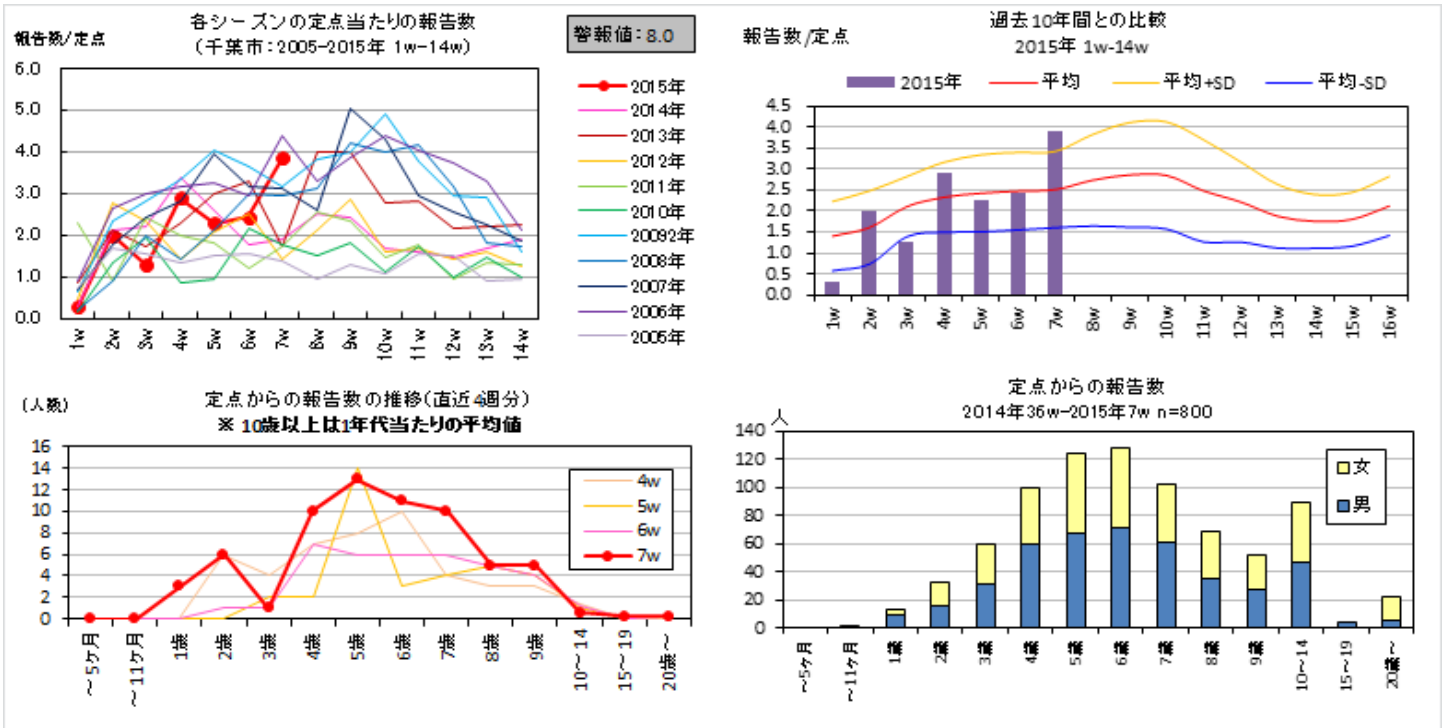
<伝染性紅斑> 前週より減少し0.61となったが、過去10年の同時期と比べると多い。

<インフルエンザ> 前週より更に減少し9.11となり、流行発生警報継続基準値を下回った。過去10年の同時期と比べると少なめ。

■ トピック ■

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの2015年第6週現在は、前週より増加し過去8年間の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、鳥取県、石川県、山形県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多めとなっています。千葉市の2015年第7週は、前週より増加し3.89となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況では、稲毛区(5.33/定点)で最多で、同区の4歳、7歳及び9歳で最も多く報告されました。今シーズンである2014年第36週から2015年第7週現在の累積報告数(n=800)によると、性別では男性が54.5%(436名)、女性が45.5%(364名)で、年齢階級別の1年代当たりでは6歳(16.1%:129名)、5歳(15.6%:125名)、7歳(12.9%:103名)の順に多くなっています。



＜伝染性紅斑＞

全国レベルの2015年第6週現在は、前週より減少しましたが過去8年間の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では、石川県、宮城県、神奈川県に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多めとなっています。千葉市の2015年第7週は、前週より減少し0.61となりましたが、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況では、稲毛区(2.33/定点)で流行発生警報開始基準値(2.0/定点)を上回り最多で、同区の4歳で最も多く発生が報告されました。2015年第1週から第7週現在の累積報告数(n=53)によると、性別では男性が64.2%(34名)、女性が35.8%(19名)で、年齢階級別では6歳(24.5%:13名)、3歳及び4歳(共に17.0%:9名)の順に多くなっています。

